

アニメファンの聖地巡礼を活用した「まちまもり」事業



DATA

■主な連携先・メンバー

株式会社P.A.WORKS(アニメ制作会社)／南砺市ブランド戦略部／間野山研究学会／PARUS(一般社団法人地域発新力研究支援センター)／高岡伝統産業青年会／関西大学政策創造学部杉浦勉ゼミ

■活動地域

富山県南砺市・砺波市・高岡市

■活動期間

2018年度

■活動資金

地域連携活動に対する補助事業

活動の目的

アニメファンによる聖地巡礼を、その地域の経済的な活性化だけでなく、地域の文化保存につなげるまちづくり、つまり「まちまもり」を実現する

連携にいたる経緯

富山県南砺市に拠点を置くアニメ制作会社P.A.WORKSは、南砺市ブランド戦略部とPARUSとともに、地域の問題を考える間野山研究学会に参加し、アニメと地域活性化をつなげる取り組みを開始した。そこに、高岡伝統産業青年会が参加し、アニメとコラボした伝統工芸品の製作、販売を試みている。こうした動きを、まちづくりではなく「まちまもり」と名付け、現状と課題を調査した。

活動内容

本活動が掲げる「まちまもり」とは、地域の伝統や文化を保存するまちづくりである。南砺市の事例で言えば、アニメがきっかけで南砺市を訪れたアニメファンが地域社会の担い手の一部となって、伝統産業や伝統文化をまもる活動に関わっていくようなかたちが想定される。

本活動のメイン地域となる南砺市では、市が発行する観光案内のビラやパンフレットにアニメキャラを掲載し、アニメファンを呼び寄せる取組みをしている。しかし、アニメに登場した風景や場所は掲載されておらず、アニメファンが南砺市への関心を深めるような作りになっていない。

その一方で、南砺市にある桜ヶ池はアニメに登場した場所であり、多くのアニメファンが聖地巡礼している。そのなかの何人かの有志が、池の周囲に植えられた桜を保存する地域の活動に定期的に参加している。こうした動きを広げるためにも、少なくとも桜ヶ池を紹介するマップにはアニメとの関連性を明示し、アニメファンへの訴求力を高めるべきであると、南砺市に提言した。



活動の成果

- 1 伝統工芸品をつくる芸術家の方々と意見交流
- 2 間野山研究学会にて政策提言を報告
- 3 有志とともに桜の保存活動に参加

今後の課題・目標

- 1 聖地巡礼に訪れるアニメファンとの連携強化
- 2 オリジナル聖地巡礼マップの制作
- 3 南砺市とアニメファンとの持続的なつながり形成

教員紹介



■政策創造学部 准教授

杉浦 勉
Tsutomu Sugiura

専門は財政学。政府、企業、市民が連携して公共サービスを提供する在り方を研究している。近年は、社会インフラの老朽化問題についての調査も進めている。